

予算決算委員会 社会文教分科会

「議会による行政評価」ステップ3

期日：令和7年8月5日（火）10:00～

令和7年8月6日（水）

場所：第2委員会室

1 開会

2 座長挨拶

3 議会による行政評価 ステップ3「分科会による意見集約」

◆集約の進め方

①個々の議員による検証等に基づいて分科会としての意見を集約する。

意見集約にあたっては、論点の抽出、整理に努めると共に、議員間の自由な討議を積極的に用いる。

②複数の分科会に関連する基本目標については、該当する分科会間で事前に調整をしたうえで、主たる所管の分科会で意見の取りまとめを行う。

基本目標3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む
基本目標4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む
基本目標5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる
基本目標6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本目標7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
基本目標8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる

4 今後の日程

Step4 「分科会での検討経過確認」

9月1日（月）全員協議会 又は9月11日（木）予算決算委員会前期全体会科会

①全員で共有するにあたり、政策会議を開催し、後期基本計画の枠組みで整理する。

②予算決算委員会全体会で各座長から「分科会による意見集約」（ステップ3）の報告を受け、全議員で共有する。

5 閉会

【裏面有】

2025（令和7）年度「議会による行政評価」評価の視点

1 評価の検証の視点

(1) 「いいだ未来デザイン2028」中期計画4年間（R3～R6）の評価の検証

- ① 昨年度は、中期計画4年間の内の3年間を評価したが、令和6年度を加えた4年間の評価を検証する。
- ② 進捗状況確認指標や重点業績評価指標（KPI）については、質疑しない。

(2) 次期計画（後期計画4年間）に向けて評価した内容の検証

- ① 昨年度実施した行政評価の「後期計画へ向けた提言」における執行機関からの回答を各分科会で確認し、新たな視点があれば記載する。

2 合同審査の評価の視点

- (1) 複数の分科会に関連する中期計画の基本目標については、該当する分科会間で事前に調整した上で、主たる所管の分科会で意見を取りまとめる。

3 後期計画における戦略バスケットへの対応した分科会審査の視点

- (1) 後期基本計画は、中期基本計画に比べ、戦略バスケット方式ⁱがより濃くなっていることから、各分科会のまとめにおいて、担当する基本目標以外の記載がある場合は、政策会議の場で調整する。

ⁱ ※戦略バスケット方式とは…4年間の取組の方向性（目標）の実現に向けた事務事業を立案し、目標ごとに関係する戦略のカゴ（バスケット）に集め戦略計画を策定する。目標達成のための効果的な戦略を組み直せるよう戦略計画は毎年見直しを行う。